

## 平成26年度おすすめ講座のご案内

### エプロン男子

初級編



料理初心者を対象に、包丁の使い方や材料の切り方など基礎から学びます。(全4回)

開催時期 第1期 4月26日(土)、5月17日(土)、31日(土)、6月14日(土)  
第2期 11月8日(土)、22日(土)、12月6日(土)、12月20日(土)  
午前の部10:00~13:00 午後の部14:00~17:00

定 員 各16名(抽選)  
託 児 あり  
対 象 料理初心者の男性  
受 講 料 5,000円(4回分の材料費、エプロン代込)

働くなでしこに贈る!

### お役立ち ワンポイントセミナー



毎月1回違うテーマで働く女性に役立つ講座を行います。  
1回だけの参加もOK。お気軽にご参加ください。

開催時期 毎月1回 ※7月を除く  
定 員 30名(先着)  
託 児 あり (予定)・接遇マナー  
対 象 働いている女性 ・ストレッカ法  
受 講 料 講座ごとに設定 ・カラーコーディネート  
など

### いまだきママの リフレッシュ講座



育児や仕事・家事の疲れをリフレッシュしませんか?  
雑貨づくりや料理、子育ての不安解消法など、ママ友もできちゃう楽しくて  
ためになる講座です。

開催時期 第1期 4月15日~5月20日  
毎週火曜日10:00~12:30(全4回) ※4月29日、5月6日  
は休講  
第2期 9月2日~9月30日  
毎週火曜日10:00~12:30(全4回) ※9月23日は休講  
定 員 18名(抽選)  
託 児 あり  
対 象 6ヶ月から就学前の子どもを持つ母親  
受 講 料 3,000円(4回分の材料費込)

### 男性のための電話相談 TEL.093-280-5325

講座のお問い合わせ

事業課 TEL.093-288-6262  
E-mail event@move-kitakyu.jp



北九州市立  
男女共同参画センター  
TEL.093-583-3939 FAX.093-583-5107  
ホームページアドレス http://www.kitakyu-move.jp/  
E-mail move@move-kitakyu.jp

- JR西小倉駅より徒歩約15分  
●西鉄バス「ソレイユホール・ムーブ前」下車  
●小倉駅バスセンター 27 45 110 134 138 13-1  
●小倉駅入口 71 76 79 150 170 175 197  
●北九州都市高速 勝山ランプ・大手町ランプ出口より約3分

北九州市立男女共同参画センター・ムーブの指定管理者  
公益財団法人  
**アジア女性交流・研究フォーラム**  
KFAW KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN

PRINTED WITH  
SOYINK  
植物性の大豆インクを使用して印刷しています。  
この植物性インクはUVカuringで硬化されています。  
不要になった際は、ご家庭でリサイクルして廃棄してください。

Moving  
vol.72

ムービング  
2014年2月28日発行(季刊誌)

# Moving

北九州市立男女共同参画センター  
ムーブ情報誌 ムービング

vol.  
72



女性社員が会社をかえる

# 働き女子の夢をかなえるキャリアアップ講座

～働く女性限定 キャリアアップ＆次世代リーダー養成講座～

女性の活躍は経済成長に不可欠であるという世論が高まりを見せ、政府の成長戦略の柱の一つとして「女性の活躍」が掲げられています。ムーブでは平成23年度より、働く女性がキャリア形成の過程で抱えている課題を解決し、更なるスキルアップを目指すこの講座を開催しています。

今年度は企業からの推薦も含め、29名の元気でパワフルな3期生を迎え、合計4日間の熱気あふれる講座となりました。最終日には、講座後に受講生が自主的に企画した交流会も開催され、北九州の元気な女性のネットワークがさらに広がっています。

<p><b>壁を超えて 次のステージの自分と出会おう</b> ～変化の時代のキャリアのつくり方～</p> <p>講師 高見 真智子さん (有限会社サイズ・コミュニケーションズ 代表取締役)</p>	<p><b>アサーティブコミュニケーションで 仕事とチームを育てよう</b> 職場のコミュニケーション、部下育成をレベルアップ</p> <p>講師 大串 垂由美さん (株式会社グローバリンク 代表取締役)</p>
<p><b>チームワークを高める ファシリテーター型リーダーシップ</b> チームによる問題解決のやり方</p> <p>講師 野口 和裕さん (有限会社NTX 代表取締役)</p>	<p><b>リード・ザ・セルフ～幸せなキャリアづくりに向けて～</b></p> <p>講師 高見 真智子さん (有限会社サイズ・コミュニケーションズ 代表取締役)</p> <p>(午後) <b>ゆるやかファイナルセッション</b> (1・2期生との交流会)</p>
<p><b>3 10/26(土)</b> 日曜</p>	<p><b>4 11/9(土)</b> 日曜</p>

公開講座① 9月28日(土)13:30~15:45

スペシャル協力 NPO法人 J-Win

## 第1部 「あなたに合ったロールモデルを見つけませんか?」

講師 幡 容子さん (KDDI株式会社 新規ビジネス推進本部 戰略推進部 マネジャー)

NPO法人J-Winの活動紹介をはじめ、ご自身が置かれた様々な立場での経験をもとにお話しいただき、働く女性のヒントになる講演となりました。仕事と家庭の両立については、いつでも同じ力でバランスを取ろうとせず、「Dual Centric(2つの軸)」という考え方から、その時々の力の入れ具合やできる範囲が違ってもよく、初めから両立しようと無理をしないこと。

また、1人のロールモデルをみつけるのではなく、複数の人の共感出来る部分や特長を組み立て、自分に合ったロールモデルを構築することを提案していただきました。



## 第2部 「壁を超えて、自分らしいキャリアを拓けたロールモデルたち」

パネルディスカッション  
パネリスト 幡 容子さん (KDDI株式会社 新規ビジネス推進本部 戰略推進部 マネジャー)  
進行 高見 真智子さん (有限会社サイズ・コミュニケーションズ 代表取締役)

ふじなか まこと 藤中 麻里子さん (株式会社損害保険ジャパン 人材開発室 ダイバーシティ推進グループリーダー)

藤中 女性初の営業職として入社してから、2年目くらいまでが大変だった。男性の先輩に負けないように仕事をしようと思うが、同じやり方では勝てない。「私だけにしかできない、顧客にとって一生思い出に残る営業」を心がけた。座右の銘は「本気になれば、世界は変わる」。自分は出来ないかもと思わず、まずはやってみる行動力が大事。

児玉 ダイバーシティ推進室長、統いて営業部長の就任も全く初めての経験だった。当初は自分に務まるか不安だったが、上司も私が未経験と認識した上での任命であり、自分だけ抱え込まず、一蓮托生だと思った。また、知らないことやわからないことは積極的に何でも教えてもらう。様々な選択を迫られる場面で、女性はこうあるべきということを言われるかもしれないが、環境は日々変化している。自分らしい生き方を大切にしてほしい。

幡 自分が壁にぶつかった時、私のどこが悪かったのだろうと落ち込んだが、自分を振り返り周囲に目を向けるよい機会になったと思う。「できない理由を考えるより、できるやり方を考える」、自分に巡ってきたチャンスはつかみましょう。

高見 一番の壁は、私達自身の中にある先入観。楽観的にチャレンジすることも必要で、キャリアを拓げることに有効にはたらいているのではないだろうか。



公開講座② 11月9日(土)13:35~14:20

## 第24回アジア女性会議－北九州(第2部) 記念講演

### 「女性活用は企業戦略～企業、そして女性へのメッセージ～」

講師 うちなが こ 内永 ゆか子さん  
(NPO法人J-Win理事長)



東京大学卒。日本IBM専務執行役員、2008年よりペブルリツツインニアシオナル(現ペブルリツツコボレーリーション)最高経営責任者(CEO)、名譽会員を歴任。2007年からNPO法人J-Win理事長を務める。

今年度の公開講座は、国際シンポジウム「第24回アジア女性会議－北九州」との同時開催で実施しました。テーマは「女性の活躍が日本、世界を変える」。

経済界の女性リーダーである内永ゆか子さんを迎えて、記念講演を行いました。

#### ■ダイバーシティの重要性と日本の現状

情報化の進展により、物理的距離や時差などのビジネス上の障壁も少なくなり、現在では国際化が進んでいる。そうなると、既存のビジネスモデルにおける成功体験を共有するだけでは企業間の競争において勝ち目はない。

いかに新しいビジネスモデルを構築し、顧客満足度を高めていくかが重要であり、そこで革新的な挑戦、創造力のある発想や価値観が求められている。このような背景を受けて、価値観や文化的背景が異なる多様な人材の積極的活用を図るというダイバーシティマネジメントという考えが、世界中のビジネスで重要な戦略となっている。

現政権の成長戦略の1つとして「女性の活躍」が掲げられているが、世界経済フォーラムが2013年発表したジェンダー・ギャップ指数では、OECD加盟国136カ国中日本は105位。年々順位は下がってきており、特に日本は女性の管理職が少なく、世界の動きからは遅れている。

#### ■ダイバーシティは企業戦略

1993年、当時業績不振であったIBMの会長にルイス・ガースナー氏が就任。企業経営における大幅な改革の1つとしてダイバーシティの推進をあげ、世界共通のマイノリティである女性の活用を、世界各支社の目標として定めた。

日本IBMでも、女性活用の促進を目指す社長の諮問機関としてJWC (Japan Women Council)を立ち上げた。「なぜ、女性活用は進まないのだろうか?」検討の結果3つの問題点があがり、その解決を図った。

まずは、女性社員の将来像が見えないこと。職場にロールモデルとなる人がおらず、将来に不安を覚え会社を辞めてしまう。介護・育児を理由に退職する割合より圧倒的に多かった。そこで、全女性社員を対象にセミナーを開催。管理職の女性達を集めてパネルディスカッションを行なうなど、情報交換を行った。

2つ目の問題点は、仕事と家事・育児とのバランス。「子どもへの育児と仕事を続けることはその間は大変であるが、自分の人生は豊かになった。」という意見が多く聞かれる。

育児の大変さよりも、そこから得られるものの方が大き

い。仕事と育児の両立を目指すことで取り組むべきは、働く場所と時間に自由度がある就業体制と評価システムの構築である。評価システムの整備とビジネスプロセスの見える化、責任体制も明確化など、この問題について改善に取り組んだ。

そして最後に、「オールド・ボーイズ・ネットワーク」。男性中心社会であった中で、あ・うんの呼吸で共有されてきた企业文化・組織文化のこと、男性は無意識に体得したものであり、女性はなかなか入れてもらえなかつた。いわゆる「ガラスの天井」に象徴されるものである。そこで、男女間で異なる組織文化への理解と企業風土の改革、女性ネットワークの構築に取り組んだ。

5年後、男性と女性の管理職比率を同等にするという目標を達成したが、それはトップに「女性活用は企業戦略」と強い信念があったからこそであり、その後業績もV字回復を達成している。

#### ■企業、そして女性へのメッセージ

働く女性の皆さんも、自分のキャリアに目標を持ってもらいたい。チャンスはどのような形で与えられてもいい。それを実現することが、自分の力になる。キャリアを目指すことは男女共に苦難はあるが、自分の人生の自己実現ができ、こんなに楽しいことはない。馬に乗ったら降りない。一度キャリアを目指すと決めたら諦めないでほしい。

また、企業にとって女性を活用することは、単に人事施策ということだけではなく、日本のビジネス競争力を上げていく観点から重要であると確信している。ダイバーシティ推進の第1歩が女性の活用であり、女性の活用だけが目的ではない。大きく日本の競争力を高めるための最初の取り組みとして、女性の活用に取り組んでほしい。



## 北九州まなびとESDステーション Gerberaプロジェクト 活動報告

2013年3月、北九州市内の10大学が連携して、「実践活動をとおして、まちの将来を担う人材の育成をめざす活動拠点」となる『まなびとESDステーション』を、小倉北区魚町にオープンしました。このまなびとESDステーションのプロジェクトの1つである「Gerberaプロジェクト」は、ムーブと地元の大学生が連携しながら、男女共同参画がいかに大切であるかを「若者の目線で、若者に発信していく」ことを目的に、イベントの企画・運営など様々な活動を行っています。

### ムーブフェスタ

#### 広報活動

6月7日(金) 小倉駅前

フェスタ実行委員やムーブサポーター、九州女子大学の留学生の皆さんと一緒に、JR小倉駅でピラ配りを行いました。



#### LOVEMEETING!!! ~七夕で運命の出会い!?~

7月7日(日)

2012年12月にデートDVの防止を目的に開催し大好評だった「LOVEMEETING!!!」を、今回はムーブフェスタの市民企画事業として、七夕の日に合わせて開催しました。

恋愛において「恋人の幸せって?」「自分の幸せって?」などをテーマに約40人の学生がワールドカフェ方式で語り合いました。「素敵なお恋は理解から、お互いの個性を尊重することの重要性を考える機会となりました。



#### トコ&ルミトークショー「もっと輝く明日のために」

7月13日(土)

コラムニストのトコさんと美容家IKKOさんの実姉でITコンサルタント会社経営の豊田ルミさんによるトークショーでは、司会進行を担当しました。

またトークショーの最後に行なった「北九州ご当地クイズ」では、クイズ問題の企画、当日の運営を担当しました。お二人にフォローをしていただきながら、楽しいイベントとなりました。



#### 100人男子会×女子会っちゃ! ~学生だけの本音ミーティングin北九州~

12月21日(土) 西日本総合展示場

「父親の笑顔、母親の笑顔、子どもの笑顔が社会を変える!」をキャッチフレーズに、「ファザーリング全国フォーラムin九州」が開催されました。第3回目の今回のテーマは「家族を楽しむ働き方」。分科会の一つとして、学生を対象に男女の働き方や家庭生活に関する現状を学び、男女が共に活躍できる社会について語り合うワールドカフェを行いました。

当日は、北九州だけでなく全国各地の大学・短大生が参加して、大いに盛り上がり、「様々な人達の価値観に触れることで自分自身の視野が広がった」など、貴重な機会になったという感想が多く寄せられました。



#### LOVECOUPLING!!! ~男と女の恋愛事情~

11月30日(土) まなびとESDステーション

12月に行われる「ファザーリング全国フォーラムin九州」の分科会、男女共同参画ワールドカフェの先行イベントとして開催しました。

男女で二人一組になり、シミュレーションによる恋愛で男女の理想や考え方、また恋愛と結婚の違いについて考えてもらい、結婚生活における家事・育児の役割分担や夫婦間の仕事に対する考え方などのデータも紹介しました。

また地域活性化を目指す「北九州学生まちあるきプロジェクト」とも連携し、イベント終了後にシミュレーション恋愛状態のままの参加者が地元商店街を巡るイベントを開催。北九州の魅力を再発見するとともに交流を深める場にもなりました。



#### Gerberaプロジェクト リーダー 参加学生の声

あさぐら しんか  
浅倉 伸哉さん(北九州市立大学 地域創生学群 2年)

様々なイベントの企画や運営に関わさせていただいて、私たちと一緒に学ばせていただきました。

機会を与えてくださったムーブの方々に感謝するとともに、今後も大学生に向けて、男女共同参画を伝える活動をしていきたいと思います。



## 平成25年度 男女共同参画啓発事業

9月7日(土) 13:00~14:40 ムーブ5階 大セミナールーム

### 堀田力さん講演会「第三の人生、自分を生かす」

【講 師】さわやか福祉財団理事長 堀田 力さん

平成24年度ムーブ発行の『ジェンダー白書9 アクティビシニアが日本を変える』に関連し、アクティビシニアの先駆者である、堀田力さんは講師にお招きして講演会を行いました。講演の前半は、ご自身の体験を交えながら男性の自立の大切さとそのための方法について、後半は色々な具体例を挙げつつ、第二の人生を生き生きと過ごすためのコツについて、ユーモア溢れる軽妙な語り口でお話していただきました。

男性と女性では、男性の方が経済的に自立していても、生活面では自立していない人が多く、定年後も肩書きにこだわり、なかなか地域とのかかわりを持てず寂になってしまふ人が多いという傾向があります。そうすると家族に大変なプレッシャーがかかる上に、本人のためにもなりません。このような男性をその妻が自立させるには、2つポイントがあります。まず1つめは、ほったらかして、口出しをしないことです。かまうから何もしないのです。そして2つめは、とにかく褒めることです。そうやって少しずつ自立に向かわせ、色々なことを任せていくことが大切です。

また、第二の人生を生き生きと過ごすためには、何かハマるものを見つけることが大事です。好きなことをやれば元気になって、次第に人が変わったかのように生き生きとしてきます。そうすると家族との会話も自然と弾むようになり、お互いに一緒にいることが楽しくなってきます。ただ、それを見つけるのは難しく、仕事ばかりやっているうちに、自分で何をやりたいかが分からなくなっている人が多いのです。そんな人のために、2つヒントがあります。まず1つめは、仕事で得意だったものを生かすことです。そして2つめは、自分が思春期の頃に何が好きだったかを思い出すことです。好きな事をやりながら、なおかつ人の役に立つことが、第二の人生を元気に楽しく生きるコツなのです。



## 平成25年度 おとこのライフセミナー

10月12日(土) 13:30~15:00 ムーブ2階 ホール

### コウケンテツさん講演会

### 「子育でジェットコースター ～コウケンテツの僕流育児～」

【講 師】料理研究家 コウケンテツさん

今年の「おとこのライフセミナー」は「イクメン」をテーマに開催しました。料理研究家としてテレビ等でも大活躍中で、1男1女の父でもあるコウケンテツさんをお招きし、ご自身が「ジェットコースターみたいだ」とお話ししている子育てや食育などのお話を楽しく語っていました。子育てだけでなく夫婦のコミュニケーションのことなどたくさんのヒントが詰まった講演となり、会場は大満足の雰囲気に包まれました。

子育てには家族をつなぐ土台が大切だと思います。我が家では、嫁が第1子を妊娠した時、教育方針について徹底的に話し合ったんです。僕の両親の教育方針はご飯をちゃんと食べること。最後まで食べて「ごちそうさま」ということ。それだけ。あとは少々やんちゃしても、試験の点が悪くてもそんなに怒らない。頂いたご飯をどんなものでもおいしく全部食べて「ごちそうさま」が言える。僕はそこに大切なことは全部つまっていると思うんです。だから息子もそれができればいいやんと思っています。うちの子は、アビーヨーアレルギーもあったし、歩き始めるのも言葉を話し始めるのも周りの子より遅かった。でもうちはご飯さえちゃんと食べればいいという基本方針があったので、気にならなかったです。その根幹部分さえ二人できちんと守ってればフレンドリー。一番ダメなのは周りの子と比べて一喜一憂すること。これは子どもも辛いし、パパママも辛い。とにかくうちの家族は食事。きちんと作って食べる。この土台があるからフレンドリー。

あと、夫婦で決めているのが、子どもには夫婦仲のいい姿を見せるということ。子どもの前でも嫁に大きめで、世界で一番愛してると伝えます。子どもにもパパとママはお前が一番大事なんだよと言葉にして伝える。そうすると子どもが積極的になります。

何より一番大切な事はやはり感謝だと思うんです。嫁には一緒になってくれてありがとう、子どもを産んでくれてありがとう。子どもには生まれてきてありがとう。仕事も、お世話になっている方への感謝です。今日も僕の話を聞きに来てくださって、本当にみなさんありがとうございました。

